

## 式 辞

皆さん、本日はご卒業おめでとうございます。そして、これまであたたかく見守り、支えてこられたご父母、保護者の皆さまには、心よりお祝い申し上げます。

また、年度末のお忙しい中、式典にご参列いただいたご来賓の皆さまに、心よりお礼を申し上げます。

皆さんが日本福祉大学を卒業されるにあたり、はなむけの言葉として、これからの人生において大切にしたい3つのことについてお話しをしたいと思います。

第1に大切にしたいのは、いのちです。あたり前のことと思われるかもしれませんが、これから社会に出て生きていく上で最も大切なことです。いのちがなければ、日本福祉大学で学び、身につけた知識や技術を社会のさまざまな現場に活かし、貢献していくこともできないのです。自分のいのちを大切にすることは、何にも増して優先すべきことですが、それと共に自分のまわりにいる人たちのいのちを尊重し、大切にすることを忘れてはいけません。皆さん一人ひとりが、いのちを大切にし、活かしていくことにより、これからの社会を動かし、良くしていくことに繋がるのです。

第2に大切にしたいのは、人権です。すべての人の尊厳が守られ、人間らしく生きることが尊重されることが、人のしあわせの根幹を成すと思います。しかし、人権というのは、脅かされたり、侵害されやすいものです。皆さん方は、本学を卒業後、対人援助や対人サービスを担われる方が多くいると思います。その際に、自分のちょっとした言葉や何気ない行動が、相手を傷つけ、人権の侵害につながる恐れがあることを肝に銘じて欲しいのです。人権を侵す意図などなかったのに、では済まされません。むしろ、人権を尊重することについて常に意識して、自分の行動を律することを心掛けて欲しいと思います。また、社会の中には、現状において人権が守られていない状態の人たちが多数いることにも目を向けて欲しいと思います。たとえば、東日本大震災や熊本地震といった、大災害後の被災地には、いまだに人間らしい生活を送ることができず、これから先の見通しも立たない人が、まだまだたくさんおられるのです。このように人権が守られていない方、侵害されている方が、私たちの社会にはたくさん存在していることについて認識し、その方たちの人権の回復に向けて自分に何ができるかを考え、行動することも大切なことです。

第3に大切にしたいのは、平和です。すべての人のふつうのくらしのしあわせを実現していく上では、平和であることが最も大切なことです。平和でなければ、人のいのちも人権も尊重されません。平和であるかどうかを左右できるのは、国や政治家であって自分たちにはどうしようもできない、と思われるかもしれませんが、そうではありません。一人ひとりが、平和であることを望み求めることの積み重ねが世論を形成し、その結果、すべての人にとってのしあわせな社会の実現に繋がれる可能性があるのです。また、国と国の間や世界レベルでの争いや紛争をなくすことだけでなく、国内の地域レベルや人と人の関係レベルにおいても、争いごとを起こさず、平和な関係づくりを率先して担うことが大切です。これから少子高齢化がさらに進む社会においては、地域において人と人が繋がりをもち、共に支え合って生きていくことが必要とされています。その為には、地域で生活している人や活動している組織が、それぞれの考え方や主張が違っていても、お互いを尊重し、認め合い、共に生きることこそが、平和でしあわせな地域をつくることに繋がるのです。

今、皆さんにお話しをした3つの大切なこと、いのち・人権・平和こそが、すべての人のしあわせを実現する上での基盤であり、皆さんが日本福祉大学で学んだことの根幹を成す考え方であることを皆さんの心に停めておいて欲しいと思います。

おわりになりますが、今日卒業される皆さんが今後それぞれの道で、日本福祉大学で身につけた力を存分に発揮し、社会に貢献されることを期待して、私のお祝いの言葉と致します。

あらためまして、ご卒業おめでとうございます。